

(1) 耐震診断の結果の公表(要安全確認計画記載建築物(防災拠点建築物))

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	岩手県庁舎	内丸10-1	庁舎	—	—	—	—	—
	知事局棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 0.83$ $C_T \cdot S_D = 0.17$ ※高層の建物であるため診断式にRtを乗じ、補正を行っている。	検討中	検討中	その他、「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説(平成8年版)」、「地震応答解析」により、耐震安全性の判断を行っている。
	渡り廊下棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 0.60$ $C_T \cdot S_D = 0.36$	検討中	検討中	
	議会棟			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_S/I_{SO} = 0.97$ $C_T \cdot S_D = 0.40$	検討中	検討中	
2	盛岡地区合同庁舎	内丸11-1	庁舎	—	—	—	—	—
	本館			(一財)日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(鉄骨が非充腹材の場合)(2009年版)	$I_S/I_{SO} = 1.26$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.59$ ※耐震改修後の数値	耐震改修	平成32年度完成予定	

I_S : 構造耐震指標。建物の耐震性能を表す指標。この数値が大きいほど耐震性能が高くなる。
 I_{SO} : 構造耐震判定指標。想定した地震動レベルに対して建物が安全であるために必要とされる指標。(今回は、 $I_{SO}=0.6$ として算定した)
 $C_T(C_{TU}) \cdot S_D$: 建物の強度指標、経常指標により建物の耐震性能を表す。この数値が大きいほど耐震性能が高くなる。